

経営発達支援事業評価シート

評価基準

- A:目標を達成することができた(100%以上)
 B:目標を概ね達成することができた(80%~99%)
 C:目標を半分程度しか達成することができなかった(30%~79%)
 D:目標をほとんど達成することができなかった(30%未満)

1. 経営発達支援事業の内容

事業	項目	令和5年度		実施した事業実績	評価
		目標	実績		
1. 地域の経済動向調査に関する事	①RESAS活用データの公開活用	1回	1回	事業計画策定には地域経済動向を捉えたRESAS活用を促し、活用している。	A
	②龍泉洞の観光客等の動向情報の公開回数	12回	12回	毎月提供により把握し、ホームページでグラフに示し公開している。	A
	③全国・地域動向情報公開回数	4回	4回	中小企業景況調査(15社・年4回)実施。	A
2. 需要動向調査に関する事	①消費者ニーズ調査結果の提供の提供件数	5社	6社	商品券販売にあわせ消費動向等の独自調査(3回)実施し、計画策定に活用。	A
	②地域外に販路を求める需要動向調査	5社	5社	新商品開発にあたり取引先から需要動向を把握し、商談に臨み成約を得た。	A
	ア. 岩泉まつたけ事業者対象者数	3社	4社	ネットショップ購入者等のレビューをデータ解析して販売向上を図った。	A
	イ. いわいずみ炭鉱ホルモン鍋対象者数	2社	3社	ホームページで岩泉ホルモンの作り方等を紹介、4社の商品をアピールして普及を図った。	A
	③商談会及び展示会の需要動向調査	4社	155社	モコレ出展52社及び食の商談会27社、結の場5社、東北ビジネスマッチング71調査。	A
	ア. 各種食品の支援対象者数	2社	2社	いわて食の商談会(仙台)出展支援、復興庁「結の場」WEB商談支援実施。	A
	イ. 木材関連の支援対象者数	2社	2社	モコレは、ネット及びリアル出展により成約2社、成約の可能性あり5社。	A
3. 経営分析に関する事	①経営分析件数	40件	44件	事業者の経営改善や補助金申請、政策執行者として事業計画が必要な際には経営分析の支援を行った。	A
4. 事業計画策定支援に関する事	①事業計画策定件数	18社	23件	融資や持続化補助金、経営革新、賃金アップ県補助金等の事業計画策定件数。	A
	②事業承継計画策定件数	2社	2件	事業承継アンケートやヒアリングによって状況把握しているが承継2件。	A
	合 計	20社	24件	上記の件数の合計	A
5. 事業計画策定後の実施支援に関する事	フォローアップ対象者事業者数	20社	41件	事業計画を策定した事業者や計画実施中の事業者等のフォローアップを展開。	A
	頻 度(延回数)	80社	113社	事業計画を策定した全ての事業者を対象に四半期毎の支援を目指している。	A
	売上の増加事業者数	5社	11社	事業計画が順調に推移し、売上増加が確認できる	A
6. 新たな需要の開拓に寄与する事業に関する事	①岩泉まつたけのブランド化の推進支援対象事業者数	7社	7社	岩泉まつたけのブランド化を図る組合員及び対象者の支援。	A
	ア. 新たな成約件数/社	1社	3社	はこびユン(JR)で百貨店に販売、クロネコ関連企業を通じ、首都圏の飲食店開拓。	A
	イ. 松茸小屋開催によって売上増加	20万円	180万円	利用客610名(前年54%増)で、目標は達成、季節限定の強みを存分に活かした。	A
	②いわいずみ炭鉱ホルモン鍋の出展事業者数	3社	3社	本会HPや岩泉炭鉱ホルモン鍋発掘隊の販促活動により会員17店の売上に貢献。	B
	売上増加額/社	10万円	140万円	いわいずみ炭鉱ホルモン鍋発掘隊のイベント出店は年間24回、売上140万程。	B
	③広葉樹木材製品の販売促進支援事業者数	2社	3社	製材所2社、家具製造販売1社を支援。	A
	成約件数/社	1社	2社	オリジナル製品の制作注文、出展商品成約あり。	A
	④岩泉の食の販売促進支援による事業者数	2社	4社	いわて食の商談会、結の場WEB商談、大手カタログ会社、松茸商品の商談。	A
	成約件数/社	1社	4社	JR東日本商事、大丸、ネットショップ(首都圏飲食店)、カタログ大手成約。	A